

バニラのネット仕立て栽培における収穫初年目の収量が高い「縦巻き誘引法」

ネットに縦向きに誘引する「縦巻き誘引法」は収穫初年目の収量が高い仕立て法

背景・目的

- 過去の試験で「柱仕立て法」と「ネット仕立て法（横巻き誘引）」を比較し、ネット仕立て法で初期収量が高いことを明らかにしました。
- ネット仕立て栽培における誘引法の違いが収穫初年目の着花や収量、品質、樹体に及ぼす影響を検証しました。

成果の内容

- 1株あたりの着花数・結莢数・収量は、縦巻き誘引が多くなり、結莢率も高くなりました（表1）。
- 莢の長さ・重量・太さといった品質は誘引法による差はありませんでした（表2）
- 総枝長に差はありませんでしたが、縦巻き誘引法で総枝数が多く、平均枝長は短くなりました（表3、写真1）

表1 誘引法の違いが収穫初年目（定植4年目）の着花および収量に及ぼす影響

試験区	着花株数	1株あたり		結莢率		10a換算収量 (Kg)	
		花穂数	着花数	結莢数	（結莢数/着花数） (%)		
縦巻き区	25	8.8	76.6	26.1	201.5	28.6	528.4
横巻き区	21	5.8	38.3	11.7	100.1	18.5	262.5
有意性	-	n.s.	**	**	**	*	-

表2 誘引法の違いが莢の品質に及ぼす影響

試験区	1花穂あたり		長さ (cm)	重量 (g)	太さ (mm)
	着花数	結莢数			
縦巻き区	10.2	3.0	17.2	9.8	11.1
横巻き区	9.5	2.2	15.9	9.2	11.0
有意性	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.

表3 誘引法の違いが生育に及ぼす影響

試験区	総枝長(cm)	総枝数	平均枝長(cm)
縦巻き区	2534.1	15.8	167.6
横巻き区	2333.9	10.0	228.0
有意性	n.s.	**	**



写真1 誘引法（左：縦巻き 右：横巻き）

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 県内におけるバニラ農家の栽培方法の参考になります。
- 普及対象地域・戸数 バニラ栽培農家（中部、児湯）2戸

留意点

- 縦巻き誘引法は枝をネットに対して垂直に誘引し、ネットの上部に達したら裏面に下方誘引し、地際に到達した時点で摘心します。横巻き誘引法は枝を上方10°程度で斜めに誘引しネットの端に到達したら裏面に誘引し摘心は行いません。
- 縦巻き誘引法は、垣根状に仕立てることができればネット仕立てに限らず、代替資材を利用した方法でも活用可能です。